



業務及び財産の状況に関する説明書

アメリカン・エクスプレス銀行 東京支店

平成 20 年 9 月期

I. 支店に係る事項

アメリカン・エクスプレス銀行 東京支店

- 代表者名
ダニエル・ジェー・クレップス
シニア・カントリー・エグゼクティブ
- 所在地
東京都杉並区荻窪4丁目30番16号
- 株主
スタンダードチャータード銀行（100%）
- 事業の概要

（貸借対照表）

当中間期末資産残高は前中間期末比 6 億 8 百万円増の 325 億 21 百万円、平残では前中間期末比 11 億 26 百万円減の 336 億 27 百万円となりました。

現金・預け金中間期末残高は 4 億 57 百万円で、平残では 5 億 95 百万円減の 3 億 68 百万円となりました。

保有有価証券 72 億 54 百万円は全額国債で担保として日本銀行と東京銀行協会に差し入れております。

貸出金中間期末残高は前中間期末比 2 億 69 百万円増の 25 億 3 百万円となり、これは全額海外金融機関（Syndication Loans 含）への円建ての信用供与となっています。

外国為替勘定は平残で前期比 52 億 97 百万円増の 125 億 16 百万円、当中間期末残高は前中間期末比 39 億 24 百万円増の 124 億 33 百万円でした。残高の主旨は韓国とインドに対する円建て及びドル建てによる短期輸出ユーザンス手形買取りと、短期円リファイナンスで供与先は全額海外金融機関となっています。

負債勘定では預金勘定が前中間期末比 79 百万円増の 3 億 78 百万円、平残は前中間期比 8 億 32 百万円減の 4 億 77 百万円でした。当中間期末外貨預金残高はございませんでした。

外国為替勘定は海外金融機関からの外国他店預りで前中間期末比 32 億 48 百万円減の 133 億 19 百万円となっております。

（損益計算書）

税引前当期利益は前中間期とほぼ変わらず 1 億 23 百万円となりました。

資金運用収益は外国為替受入増で前中間期比 8 百万円増の 1 億 75 百万円となりました。

役務取引等収益は前中間期比 27 百万円減の 3 億 45 百万円でした。

資金調達費用は前期比 9 百万円減の 70 百万円となりました。

役務取引等費用は 16 百万円で、ブローカレッジ・銀行支払手数料等が含まれております。

固定資産除却損として 2 百万円を計上しました。

アメリカン・エクスプレス銀行東京支店

中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	平成 20 年 9 月 30 日 現在	平成 19 年 9 月 30 日 現在
(資産の部)		
現金預け金	457	980
コールローン	3,400	5,100
有価証券	7,254	8,513
貸出金	2,503	2,234
外国為替	12,433	8,509
その他資産	147	311
有形固定資産	40	47
無形固定資産	9	9
繰延税金資産	-	2
支払承諾見返	6,036	5,702
貸倒引当金	△22	△24
本支店勘定	261	530
資産の部合計	32,521	31,913
(負債の部)		
預金	378	299
コールマネー	6,966	-
外国為替	13,319	16,567
その他負債	139	193
賞与引当金	-	-
退職給付引当金	-	13
支払承諾	6,036	5,702
本支店勘定	5,557	9,118
負債の部合計	32,397	31,892
(純資産の部)		
利益準備金	93	86
中間繰越利益剰余金	32	△65
その他有価証券評価差額金	-	-
繰延ヘッジ損益	-	-
土地再評価差額金	-	-
純資産の部合計	125	21
負債及び純資産の部合計	32,521	31,913

注記	平成 20 年 9 月 30 日 現在	平成 19 年 9 月 30 日 現在
1. 貸出金のうち、破綻先債権、延滞債権、3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権の額並びにその合計額	該当なし	該当なし
2. 有形固定資産の減価償却累計額	102 百万円	136 百万円

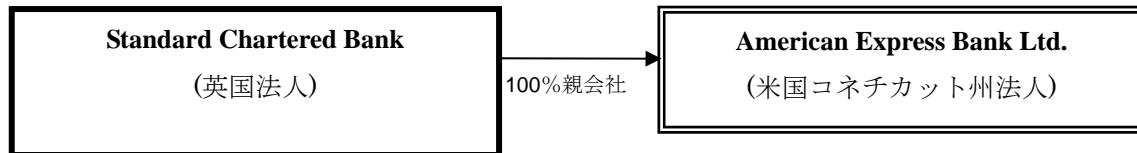
アメリカン・エクスプレス銀行東京支店
中間損益計算書

(単位:百万円)

科目	平成 20 年 9 月期	平成 19 年 9 月期
	自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日	自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日
経常収益	526	543
資金運用収益	175	167
(うち貸出金利息)	(10)	(1)
(うち有価証券利息配当金)	(21)	(5)
役務取引等収益	345	372
特定取引等収益	-	-
その他業務収益	4	4
その他経常収益	-	-
経常費用	401	422
資金調達費用	70	79
(うち預金利息)	-	(-)
役務取引等費用	16	8
特定取引等費用	-	-
その他業務費用	-	29
営業経費	313	297
その他経常費用	-	9
経常利益	125	121
特別利益	-	-
特別損失	2	-
税引前中間純利益	123	121
法人税、住民税及び事業税	-	-
法人税等調整額	-	-
中間純利益	123	121

II. 本店に係る事項 アメリカン・エクスプレス銀行

- 本店所在地 アメリカ合衆国 ニューヨーク州ニューヨーク市
1、マディソン・アヴェニュー、3階、10010-3603
- 会社設立の年月日 1919年 2月 19日
- 会社設立の準拠法 アメリカ合衆国 コネチカット法
- 株主 スタンダードチャータード銀行 (100%)



ファイナンシャル・ハイライト

(単位 100万US \$)	2007	2006	2005
年 度			
税引後当期利益	△115	37	136
年 度 末			
売却可能有価証券	2,346	2,260	2,606
貸 出 金	8,038	7,223	7,032
総 資 産	17,155	15,348	13,895
預 金	14,531	12,879	10,970
株 主 資 本 金	524	733	757
リスク・ベース・キャピタル			
Tier 1	10.7%	9.6%	10.3%
合 計	13.6%	11.3%	11.3%
リ ベ レー ジ ・ レ シ オ	4.5%	4.5%	5.1%

III. 特記事項

アメリカン・エクスプレス銀行は2007年12月末 現在、世界41ヶ国77オフィスのネットワークを持ち100ヶ国以上の顧客と取引を行っており、世界各地でコルレス銀行業務、企業金融業務、プライベート・バンキング業務、個人向け金融サービス、及びグローバル・トレーディング業務の他、グローバル・シンジケーション、キャピタル・マーケット業務等7つの事業を展開しております。

2008年2月29日、当局の認可が正式に下りたことを受け、アメリカン・エクスプレス・カンパニーの100%子会社であったアメリカン・エクスプレス銀行は、スタンダードチャータードPLC（スタンダードチャータード銀行の最終持株会社）による買収が完了いたしました。

当買収によるアメリカン・エクスプレス銀行事業統合の完了時期は概ね24ヶ月後を予定しております。

